

Tales of Irish Linen

アイリッシュリネンのおはなし

極上のベドリネンを求めて





2014.6 ノルマンディー Terre de Lin

リネン—亜麻 ヨーロッパ由来の麻

麻にはさまざまな種類があります。ヨーロッパを中心としたリネン（あま亜麻）、日本で伝統的に使われているラミー（ちよま苧麻）、近年中国で多く栽培されるようになったヘンプ（大麻）などです。

その中でリネン（亜麻）はフラックスと呼ばれる草を原料とします。現在では主に北フランスのノルマンディー地方、ベルギー、オランダなどで栽培され、そのシェアは世界の80%にもなります。

春に植えられたフラックスは6月半ばに青色のきれいな花を咲かせます。7月から8月に実が付くと、乾燥されて収穫されます。リネンの繊維はこのフラックス草の中央部から取り出されるのです。

取り出されたリネンの繊維は、品種や品質でクラス分けされ、主にしっしきぼうせき湿式紡績と呼ばれる高度な紡績技術によって糸へと紡がれます。



湿式紡績（右）と乾式紡績（左）
湿式紡績の方が毛羽が少なく良い糸がつくれる



ハードマンズーHerdmans

リネンのロールスロイスといわれた最高の紡績メーカー



市場では、アイリッシュリネン、フレンチリネン、ベルギーリネン、リトニアリネンなど様々な地方の名前が付けられています。その中でもリネンの最高峰といわれたのがアイリッシュリネンです。かつてアイルランドには多くのリネン紡績メーカーがあり、その中でも最高級に位置付けられたのがハードマンズ社でした。

現在はハードマンズ社を含め、アイルランドには紡績メーカーは残っていません。しかしハードマンズの名前と技術は受け継がれ、高品質なハードマンズ・リネンが作られています。

アイリッシュリネンのふるさと サイオンミルズーSionMils

1835年ハードマンズ兄弟は北アイルランドのサイオンミルズにリネンの生産工場を建てました。社会改革者のロバートオーウェンの理論と研究に大きく影響され、工場労働者とその家族の福祉のために宿舎や学校を作るなど、ハードマンズ家の人々は地域に貢献してきたのです。しかしながら、2004年に工場は閉鎖されました。現在はリスバーンにあるアイリッシュリネン博物館がアイリッシュリネンの歴史を伝えています。



リネンのたのしみ

リネン（亜麻）の特徴は、

①吸湿・発散性が非常にすぐれていること

汗を吸って素早く乾きます。生地は常にさらっとしていて、多湿の日本の気候にも良く合います。

②汚れにくいこと

ソースのしみでも洗うと簡単に落ちます。そのため、テーブルクロスやナプキンに使われています。汚れやすいピロケースで実感いただけます。

③丈夫なこと

リネンを含めた麻は丈夫な繊維です。しかし風合いの良い細番手の生地は、繊細なためそれなりに注意が必要です。

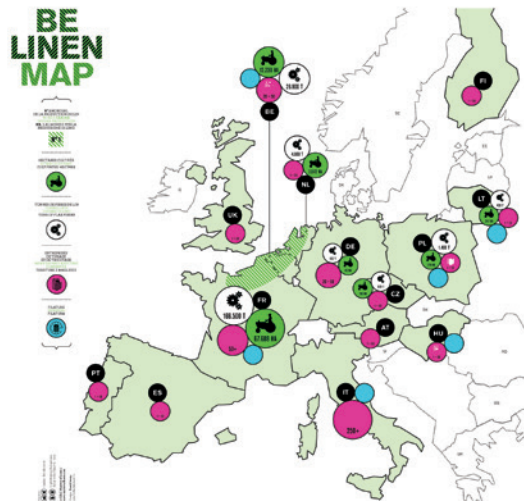
アイリッシュリネン？ フレンチリネン？

本来は原料のフラックスの栽培地で表示されるべきですが、フランスのシェアがあまりに大きく、ほとんどのリネン生地はフレンチリネンになります。フレンチリネンも品種によって品質が異なります。フランスのフラックス生産組合 Terre de Lin を訪れた際には 10 種類もの品種があり、常に品種改良をしているということでした。

アイリッシュリネンも元々はアイルランド産のフラックスで、ハードマンズ社のようにアイルランドで紡績したものを指していましたが、今日アイルランドではフラックスの栽培も紡績も行なわれていません。

私どもはハードマンズの技術と品質を持った 60 番手以上のリネン生地（産地はフランス）をアイリッシュリネンと称しています。

左の図はヨーロッパのフラックス農場の大きさ（緑）、フラックス原料の生産高（白）、紡績量（青）、布の生産量（赤）で示しています。フラックスはフランスが圧倒的に多く、原料の 80% は中国へ輸出されるため、ヨーロッパでの紡績自体は量が少ないのです。アイルランドでは生地しか織っていません。





ハードマンズ・ゴールドラベル

LI100 アイリッシュリネン100

ハードマンズの中でもトップグレードに位置するのが、極細 100 番手の生地です。100 番手以上の糸を紡績するには、最高品質のフラックスが必要です。2022 年は、気候変動の影響でリネンの生育が十分でなく 100 番手を紡績できる品質の原料が取れませんでした。

貴重な 100 番手の糸を 70 インチ織機で 154cm 巾に織り上げています。とても軽くて柔らかいため、年間通して使うことができます。

生成（フラックス色）、白（晒し）に加え、元々のアイリッシュリネンの色に合わせたシャンパンゴールド色の 3 色を用意しています。掛布団カバー、ピロケースに適しています。強度的に強くはないのでシーツを使う場合は、取扱いにご注意ください。

番手：糸の太さを表す。大きい数字ほど細くなり高級となる
綿番手と麻番手など素材によって異なる



ハードマンズ・ゴールドラベル

LI80A アイリッシュリネン80

ハードマンズの中でも上質な細番手 80 番手の生地です。100 番手同様 80 番手も、最高品質のフラックスが必要です。

眠りのプロショップ Sawada が生地の織りから企画しました。

80 番手の糸で白（晒し）を経糸に、生成（フラックス）を緯糸にして、75 インチ織機で 160cm 巾に織り上げています。

生成色はシャンブレー織りになっているため、通常の生成より淡い色で人気があります。

とても軽くて柔らかいため、年間通して使うことができます。

生成シャンブレー、白の 2 色展開で、ソフトになる CC 加工を行なっています。

掛布団カバー、ピロケースに適しています。高密度に織っていますが、細番手なのでシーツに使う場合は、取扱いにご注意ください。

ハードマンズ・ゴールドラベル

LI60 アイリッシュリネン60

アイリッシュリネンの中でもリーズナブルな 60 番手の生地です。
ハードマンズ 60 番手の糸を 70 インチ織機で 156cm 巾に織り上げています。ソフトになる CC 加工を行っており、柔らかな風合いです。
生成、白の 2 色展開です。
掛布団カバー、ピロケース、シーツに適しています。

ハードマンズ・シルバーラベル

LF40 フレンチリネン40

ハードマンズの中で標準的な 40 番手の生地で、こちらは原料生産地のフレンチリネンの呼称です。こちらもソフトになる CC 加工を行なっています。生成、白の 2 色展開です。
厚みと重量があるため掛布団カバーには向きません。生地が丈夫なためシーツなどに適しています。





リネンのふるさとフランス・ノルマンディー

Terre de Lin 訪問記



2014年6月パリを出発し、途中モネの睡蓮で有名なジヴェルニーを経て、フランス・ノルマンディーにある Terre de Lin を訪れました。

Terre de Lin はフランス最大のフラックス生産組合です。傘下に600軒のリネン農家を抱え、フラックスの栽培や品種改良、紡績前のスライバーなどの加工を行なっています。

夏至に近いこの時期、フラックスは可憐なブルーの花を咲かせます。花が見られるのは一週間ほどでなかなか見ることができません。この開花を見たいがために、4月から生育状況を連絡して、この日に至りました。

原料の生産現場へ行くとリネンの本当の姿が見えてくるのです。



【フラックスの生産工程】

[フランス Terre de Lin]

- 1 春にフラックス草の種をまきます。リネンは地力を使うので連作ができません。6年に1度の栽培です。
- 2 6月中旬に可憐な青い花が咲きます。一週間ほどしか咲かないので、なかなか出会えません。
- 3 レットティング：7月、実がなるとフラックス草を引き抜いて、1か月ほど畑に寝かせて乾燥させます。
- 4 乾燥させたフラックス草をまとめて保存します。
- 5 スカッチング：乾燥した茎の周りを取り除きリネン繊維を取り出します。
- 6 幾つかの工程を経て取り出されたリネン繊維は、品質で分けられて紡績工場へ出荷されます。(80%は中国行)



レットティング



乾燥したフラックス



取り出されたリネン繊維



スカッチング



紡績工場へ出荷される



スカッチング

【リネン糸・生地生産工程】

[中国 ハードマンズブランドの紡績工場]

7 ハックリング：紡績工場で入荷した良質のリネン繊維を何度も梳き、良い繊維だけを取り出します。

8 スライバー：繊維を並べて粗紡糸づくりの元となるスライバーを作ります。スライバーを何度も加工して粗紡糸を作っていきます。

9 精練：ペクチンなどの不要物を取り除きます。

10 紡績：湿式紡績機を使い粗紡糸からリネン糸に紡績します。糸になったら出荷されます。

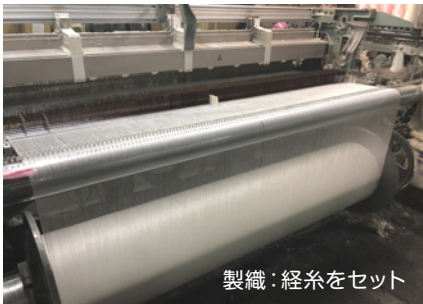
[日本 浜松の高田織物工場]

11 製織：輸入されたリネン糸を使い、布に織ります。糸はビニロンなどを巻いて切れないように強化します。経糸を用意し織っていきますが、リネン糸は切れやすいため、加湿器を使いながら織りあげていきます。

[日本 滋賀の大長]

12 仕上：ビニロンを洗い流し、CC（クールクラッシュブル）加工などのソフト加工を行い、生地を仕上げて行きます。

このように多様な工程をそれぞれのプロの目と手で仕上げ、良質のリネン生地が生まれるのです。





夢匠庵



自然素材と快眠カウンセリングで上質な眠りをお届けする 眠りのプロショップSawada

私たちは 1890 年の創業以来 130 年余、常に高い品質の品を提供し、地元長浜の皆様から信頼を得てまいりました。

持続可能な社会づくりが求められる今日、上質な自然素材を選び抜き、①羽毛工房ダウラボによる羽毛布団の自家製造・リフォーム、②麻や真綿、ウールなどオリジナル寝具の開発、③ヨーロッパから環境配慮型のマットレス等の輸入によって「長く使う、再利用する、土に還る」眠りと地球にやさしい品ぞろえをしています。

町家を使った新店舗「夢匠庵」では、快眠カウンセリングと快眠フィッティングによって、それぞれに合った寝具選びを提案いたします。私たちは、お客様の健康に役立つ上質な睡眠をお届けしてまいります。

2007 年第 9 回グリーン購入大賞 大賞受賞
2015 年経済産業省 がんばる中小企業 300 社選定

本店・羽毛工房ダウラボ

〒526-0052 滋賀県長浜市神前町 9-11

快眠カウンセリング専門店「夢匠庵」

〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町 12-9

TEL. 0749-62-0057 (共通)

Mail: info3@sleep-natura.jp

ショップ
アクセス



羽毛工房ダウラボ



詳しくはWEB サイトから
リネンの極意
<https://linen-meister.com>



眠りのプロショップ Sawada
[株式会社沢田商店] since1890
〒526-0052 滋賀県長浜市神前町 9-11
TEL.0749-62-0057 FAX.0749-62-0094
E-mail : info3@sleep-natura.jp